

1 学習目標

モデル文に基づいて自分の将来の夢について4文以上の英文を書くことができる。

CAN-DO リストとのつながり：

自分の将来の夢について、理由などを付け加えながら、4文以上の英文で書くことができる。

2 指導上の留意点

- (1) テキスト（将来の夢）に関連する語彙をリズムに乗せて練習することにより、モデル文の内容にスムーズにつなげたい。
- (2) 英文をスピーディーに多量に反復練習することにより、生徒の発話量を増やし、既習の基本文を定着させたい。
- (3) 教師と生徒の間でインタラク션을図りながら、教材文の内容を再構築していく。絵や写真も効果的に使用し、キーワードや新出語句を導入する。
- (4) フラッシュカードでスピーディーに新語を発音させることにより発音と綴りを結び付け、リーディングへの橋渡しとしたい。
- (5) Choral reading, Backward build-up, Buzz reading, Individual reading, Read and look up など多様な練習を取り入れることにより多量の練習を行うようにする。
- (6) 文章構成の例（フォーマット）を提示、確認するとともに、思考ツール等を効果的に取り入れる。
- (7) 振り返りシートを活用し、学習した内容や言語形式のまとめや再確認を行うように支援する。

Saturday, June 30 (29) Presentation 1 (pp. 46-47) Make a presentation about your future dreams.

ピクチャーカード

a computer programmer

ピクチャーカード

surf the Internet

make useful websites

文章構成

1. Future dreams
2. Reason 1
3. Reason 2
4. What I will do to make my dream come true

本時の流れ

- ① あいさつとめあての確認 (T-Ss)
- ② ウォーミング・アップ
 - ・テキスト（職業）に関連する語彙 (Jazz chants) (T-Ss)
- ③ Unit 3 Part 2 基本文 (I want to be .../I want to ...) の復習
 - ・Mim-mem (T-Ss)
 - ・Pattern practice (T-Ss/T-S-Ss)
 - Variation (Substitution/Conversion)
- ④ モデル文の理解
 - ・モデル文のオーラル・インタラクシオン (T-Ss)
- ⑤ 新出単語の確認と練習 (T-Ss)
- ⑥ モデル文の音読 (T-Ss/Ss-Ss-S-S)
 - ・Model reading/Choral reading/Buzz reading/Individual reading/Read and look up
- ⑦ 文章校正のフォーマットとプレゼンテーションスキルの確認 (T-Ss)
- ⑧ 将来の夢についての文章作成 (Writing)
- ⑨ まとめと振り返り
- ⑩ あいさつ (T-Ss)